

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **06343148 A**

(43) Date of publication of application: **13.12.94**

(51) Int. Cl.

H04N 5/782

G11B 27/024

H04N 5/91

(21) Application number: **05130333**

(71) Applicant: **MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD**

(22) Date of filing: **01.06.93**

(72) Inventor: **IWAZAWA TAKAHIRO**

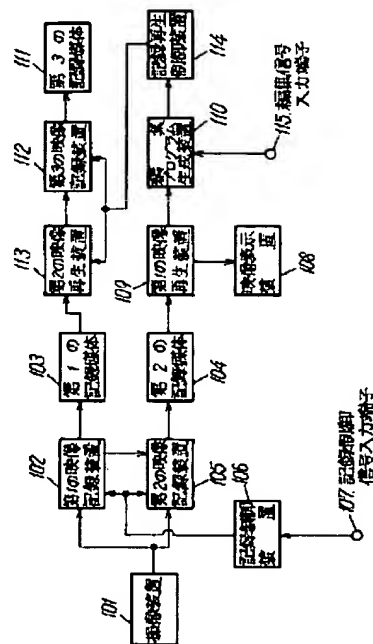
(54) VIDEO DEVICE

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide a video device capable of performing automatic editing without reviewing recorded video images and performing marking for positioning.

CONSTITUTION: Video signals from an image pickup device 101 are inputted to a first video recorder 102 and a second video recorder 105 and the first video recorder 102 records the video signals in a first recording medium 103. The relative position of the first recording medium 103 and a part of the video signals recorded in the first recording medium 103 are recorded in a second recording medium 104. The second recording medium 104 is reproduced by a first video reproducing device 109 and required information is displayed at a video display device 108. The video signals of the first recording medium 103 to be source data are automatically edited through a third video recorder 112 and a second video reproducing device 113 to a third recording medium 111.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-343148

(43) 公開日 平成6年(1994)12月13日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 5/782	A			
G 1 1 B 27/024				
H 0 4 N 5/91	N	4227-5C		
		8224-5D	G 1 1 B 27/ 02	C
審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)				

(21) 出願番号 特願平5-130333

(22) 出願日 平成5年(1993)6月1日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 岩澤 高広

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

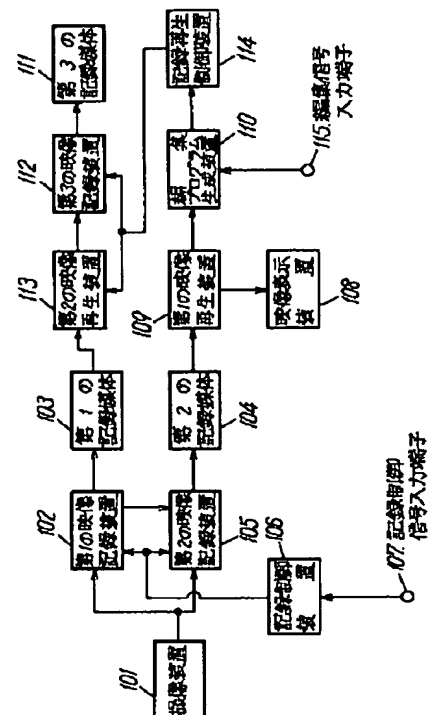
(74) 代理人 弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

(54) 【発明の名称】 映像装置

(57) 【要約】

【目的】 記録されている映像を再度見直して位置決め
のマークを行わなくても自動編集することができる映像
装置を提供する。

【構成】 撮像装置101からの映像信号は、第1の映
像記録装置102と第2の映像記録装置105に入力さ
れ、第1の映像記録装置102は、第1の記録媒体103
に映像信号を記録していく。第2の記録媒体104へ
は、第1の記録媒体103に記録している映像信号の一
部と第1の記録媒体103の相対的な位置が記録され
る。第2の記録媒体104は第1の映像再生装置109
によって再生され、必要な情報を映像表示装置108へ
表示する。ソースデータになる第1の記録媒体103の
映像信号は、第3の映像記録装置112および第2の映
像再生装置113を介して第3の記録媒体111へ自動
編集される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】撮像装置による映像信号を第1の記録媒体に記録する第1の映像記録装置と、前記第1の映像記録装置の情報を得て、ランダムアクセス可能な第2の記録媒体へ情報を記録する第2の映像記録装置と、前記第1の映像記録装置および前記第2の映像記録装置をコントロールする映像記録制御装置と、外部から前記第1の映像記録装置および前記第2の映像記録装置をコントロールする信号を入力するための記録制御信号入力端子と、前記第2の記録媒体の内容を再生する第1の映像再生装置と、前記第2の記録媒体に記録されている内容を表示する映像表示装置と、前記第1の映像再生装置で得られた情報と外部より入力される編集信号をもとに編集プログラムを生成する編集プログラム生成装置と、前記第1の記録媒体に記録された映像信号を再生する第2の映像再生装置と、前記第1の記録媒体に記録されている映像を第3の記録媒体に編集して映像信号を記録する第3の映像記録装置と、前記第3の映像記録装置および前記第2の映像再生装置をコントロールする記録再生制御装置と、外部より入力される編集信号入力端子とを備えたことを特徴とする映像装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、カメラ一体型のビデオテープレコーダー（VTR）などで記録したビデオテープを編集するための映像装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、VTRの普及にともない、様々な用途でVTRが使用されるようになってきた。特に、カメラ一体型VTRが多く使われるようになってきて、自分で撮影したビデオテープを編集するという用途も利用されている。従来、このようなビデオテープの編集を行なう際に、頭出し等の機能を使うためには、目標とするビデオテープの位置にマークを設定しなければならない。

【0003】以下に、ビデオテープの位置を決める従来の映像装置について図面を参照しながら説明する。図2は、従来の映像装置の構成を示す構成図である。

【0004】図2において、201は映像信号の入力端子である。202はビデオテープ等のシーケンシャルな記録媒体に映像信号を記録する映像記録装置である。203はビデオテープ等のシーケンシャルな記録媒体である。204は前記記録媒体203のどの位置をアクセスしているかを相対的に示すカウンタ表示である。205は前記映像記録装置202をコントロールするための記録制御装置である。

【0005】以上のように構成された従来の映像装置について、以下その動作について説明する。

【0006】映像信号入力端子201へ入力される映像信号は、映像記録装置202を介して記録媒体203へ

映像信号を記録する。このとき、カウンタ表示204は記録媒体203のどの位置をアクセスしているかを時間などで相対的にわかるパラメータで表示する。また前記映像記録装置202は、記録制御装置205によってコントロールされており、記録開始/停止、一時停止などを制御する。

【0007】仮にここでは、記録媒体203が時間に対してシーケンシャルに記録を行なうビデオテープであったとする。このビデオテープのある位置に対して位置を示すマークを行なう場合、記録制御装置205から映像記録装置202へ信号が送られ、記録媒体203のアクセスされている場所にマークを行なう。その結果、マークは記録媒体203を再生したときの目安となり、早送り/巻戻しなどを行ったときに自動的に位置の検出を可能にする。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら前記の従来の構成では、記録媒体へ映像を記録することと、位置の検出するためのマーク付けとは別々に行なっているため、記録されている映像を再度確認しながら、位置検出用のマークをいれていかなければならないという課題を有していた。

【0009】本発明は前記従来の課題を解決するもので、記録されている映像を再度見直して位置決めのためのマークを行わなくても自動編集することができる映像装置を提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】前記従来の課題を解決するために、本発明の映像装置は以下のような構成を有している。すなわち、撮像装置による映像信号を第1の記録媒体に記録する第1の映像記録装置と、前記第1の映像記録装置の情報を得て、ランダムアクセス可能な第2の記録媒体へ情報を記録する第2の映像記録装置と、前記第1の映像記録装置および前記第2の映像記録装置をコントロールする映像記録制御装置と、外部から前記第1の映像記録装置および前記第2の映像記録装置をコントロールする信号を入力するための記録制御信号入力端子と、前記第2の記録媒体の内容を再生する第1の映像再生装置と、前記第2の記録媒体に記録されている内容を表示する映像表示装置と、前記第1の映像再生装置で得られた情報と外部より入力される編集信号をもとに編集プログラムを生成する編集プログラム生成装置と、前記第1の記録媒体に記録された映像信号を再生する第2の映像再生装置と、前記第1の記録媒体に記録されている映像を第3の記録媒体に編集して映像信号を記録する第3の映像記録装置と、前記第3の映像記録装置および前記第2の映像再生装置をコントロールする記録再生制御装置と、外部より入力される編集信号入力端子とを備えたことを特徴とする。

【0011】

【作用】前記構成によって、記録されている映像を再度確認しなくても、もう一方の記録媒体に記録されている情報を検索し、編集プログラムを作成することで映像を自動編集することができる。

【0012】

【実施例】以下、本発明の一実施例について図面を参照しながら説明する。

【0013】図1は、本発明の一実施例に係る映像装置の構成を示すものである。図1において、101は被写体を撮影し、映像信号を得るための撮像装置である。102はビデオテープなどに長時間映像信号を記録できる第1の映像記録装置である。103は前記第1の映像記録装置102で使用されるビデオテープなどの第1の記録媒体である。104は前記第1の映像記録装置102の記録時の情報を記録するランダムアクセス可能な第2の記録媒体である。105は前記第1の映像記録装置102の情報を得て、前記第2の記録媒体104へ情報を記録する第2の映像記録装置である。106は前記第1の映像記録装置102および前記第2の映像記録装置105をコントロールするための映像記録制御装置である。107は外部から前記第1の映像記録装置102および前記第2の映像記録装置105をコントロールする信号を入力するための記録制御信号入力端子である。108は第2の記録媒体104に記録されている内容を確認するための映像表示装置である。109は第2の記録媒体104の内容を表示するための第1の映像再生装置である。110は前記第1の映像再生装置109で得られた情報と外部より入力される編集信号をもとに編集プログラムを生成する編集プログラム生成装置である。111は前記第1の記録媒体103に記録されている映像を編集して記録するための第3の記録媒体である。112は前記第3の記録媒体111へ編集された映像信号を記録するための第3の映像記録装置である。113は映像媒体である第1の記録媒体103に記録されている映像信号を再生するための第2の映像再生装置である。114は前記第3の映像記録装置112および前記第2の映像再生装置113をコントロールするための記録再生制御装置である。115は外部より入力される編集信号入力端子である。

【0014】以上のように構成された本実施例に係る映像装置について、以下その動作について説明する。

【0015】まず記録時の動作について説明する。撮像装置101から出力される映像信号は、第1の映像記録装置102と第2の映像記録装置105に入力される。第1の映像記録装置102は、ビデオテープ等の時間に対して順次記録していく第1の記録媒体103に映像信号を記録していく。このとき、外部より入力される記録開始/停止といった信号は、記録制御信号入力端子107より記録制御装置106へ入力され、第1の映像記録装置102を制御する。一方、第2の映像記録装置10

5には、記録制御装置106から出力される制御信号と第1の映像記録装置102より出力される第1の記録媒体103の相対的な位置情報が入力し、ランダムアクセス可能なディスク等の第2の記録媒体104にそれらの情報と第1の記録媒体103に記録している映像信号の一部を記録していく。すなわち、第2の記録媒体104へは、第1の記録媒体103に記録している映像信号の一部とテープの頭出しに必要な第1の記録媒体103の相対的な位置が記録されたことになる。

【0016】次に再生編集時の動作について説明する。第2の記録媒体104は第1の映像再生装置109によって再生され、必要な情報を映像表示装置108へ表示する。このとき第2の記録媒体104はランダムアクセス可能なものであるため、情報の検索は任意の方法で行なうことができる。その後、映像表示装置108で必要な情報を確認しながら、編集プログラム生成装置110で編集信号入力端子115より入力される編集信号によって編集プログラムを生成する。この編集の際に必要なデータは、第2の記録媒体104より読み出して使用する。次に、編集プログラムは記録再生制御装置114へ転送され、第3の映像記録装置112および第2の映像再生装置113を制御する。すなわち、ソースデータになる第1の記録媒体103の映像信号は、編集プログラムによってコントロールされ、第3の映像記録装置112および第2の映像再生装置113を介して第3の記録媒体111へ自動編集される。

【0017】以上のように本実施例によれば、一方の記録情報を別の記録媒体ヘデータベースとして記録することによって、記録されている映像を再度見直して位置決めマーク付けを行なわなくても自動編集することができる。

【0018】なお、本実施例では映像信号を扱って説明したが、音声信号としても同様の効果があることは言うまでもない。

【0019】

【発明の効果】本発明は、一方の記録情報を別の記録媒体ヘデータベースとして記録することによって、記録されている映像を再度見直して位置決めマークを行なわなくても自動編集することができる。さらにデータベース化した記録媒体は、ソースデータとは、別物であるため情報の検索が行ないやすいという効果を得ることができる優れた映像装置を実現できるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例における映像装置の構成を示すブロック図

【図2】従来の映像装置の構成を示すブロック図

【符号の説明】

101 撮像装置

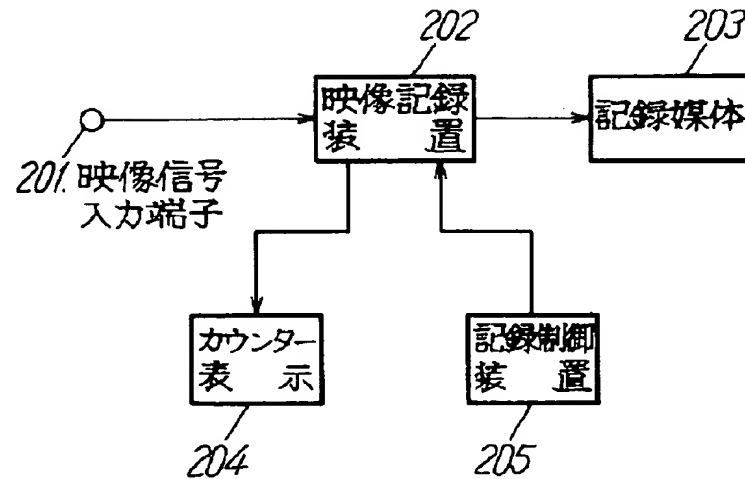
102 第1の映像記録装置

103 第1の記録媒体

104 第2の記録媒体
105 第2の映像記録装置
106 映像記録制御装置
107 記録制御信号入力端子
108 映像表示装置
109 第1の映像再生装置
110 編集プログラム生成装置
111 第3の記録媒体
112 第3の映像記録装置

113 第2の映像再生装置
114 記録再生制御装置
115 編集信号入力端子
201 映像信号入力端子
202 映像記録装置
203 記録媒体
204 カウンタ表示
205 記録制御装置

【図2】



【図1】

